

# 土砂災害 タイムラインを つくりましょう。

【地域のタイムライン版】



令和8年6月  
愛媛県土木部 河川港湾局 砂防課

# 1. 土砂災害タイムラインとは

## (1) 概要

### タイムラインはなぜ必要？

全国で毎年のように大雨による土砂災害が発生しています。愛媛県においても、平成30年7月の西日本豪雨では大きな被害が発生しましたが、事前の避難で助かった事例もありました。

事前に予測できる大雨による土砂災害は、発生前に事前の避難等の対応が可能のため、

**「いつ」「誰が」「何を」**

について事前に考え、行動内容を決めておくことで、いざというときに慌てず迅速に避難行動に移すことができるようになります。

このガイドラインでは、土砂災害による逃げ遅れゼロを目指し、避難行動を事前に決めておく土砂災害タイムラインの作成を支援します。



平成30年7月の西日本豪雨で発生した土砂災害

## (2) 期待される効果

### タイムラインを作成することで…

- ・災害時の防災行動チェックリストとして使える！
- ・災害時の判断をサポートしてくれる存在に！

### タイムライン 3つの役割

#### ④-1 避難支援が必要な人を把握

- ・要支援者が土砂災害警戒区域内に住んでいるかどうか確認できる

#### ④-2 要支援者への支援担当を決める

- ・誰を、誰が、どのような支援を、いつするか事前に決める

#### ④-3 地域の役割分担を決める

- ・要支援者への直接支援以外の市町との連絡調整や避難所開設などの役割を決める

大雨による土砂災害に備えて  
(地域のタイムライン)

地域名 ○○○○

土砂災害の切迫度		1	2	3	4	5	災害発生
気象情報 (気象庁)	警報 注意報		レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警戒報	レベル4 土砂災害危険警戒報	レベル5 土砂災害特別警戒報	
	土砂災害 危険度分布		注意	警戒	危険	災害切迫	
	避難情報等 (市・町)		自らの避難行動を確認	高齢者等避難 きけんな場所から 高齢者等は避難	避難指示 きけんな場所から 全員避難	緊急安全確保 命のきけん ただちに安全かくほ!	
自治会長 Aさん			市と連絡調整 副会長や担当への指示や調整 随時	高齢者等の 避難状況の確認 ※要時間 15分	避難状況の確認 ※要時間 15分	避難支援が 必要な人	
副会長 Bさん			気象情報の収集や危険箇所の見回り、会長への報告 随時			名前 連絡先	
避難情報連絡担当 Cさん			避難所開設 ※要時間 15分			1 Gさん 00-0000	土砂災害 警戒区域 内
直接支援担当 Dさん (支援相手: Eさん)			気象情報や避難情報の 連絡 (①~③、⑤~⑥) 随時	避難情報などを 訪問して連絡 (④) ※要時間 10分	避難の声かけ しながら避難	2、③ I夫婦 00-0000	○
直接支援担当 Fさん (支援相手: Gさん)			気象情報を訪問 して連絡 (⑤) ※要時間 10分	避難所まで車いす の移動補助同行 (⑦) ※要時間 30分	避難の声かけ しながら避難	4 Eさん 00-0000	○
直接支援担当 Hさん (支援相手: I夫婦)				乗車補助 (②、③) ※要時間 10分	避難の声かけ しながら避難	5 Kさん 00-0000	○
						7 Lさん 00-0000	○
						8、⑨ M夫婦 00-0000	○

地域のタイムラインシート 記載例

## 2. 土砂災害タイムラインの活用方法

どんな時に使うのか

### 台風るとき



テレビやラジオ、ネットニュースの天気予報で3~5日後に台風が直撃するおそれがあると予報されたとき

### 急な豪雨るとき



天気予報が、突発的な大雨や雷を伴う豪雨となる可能性があるかと注意を呼び掛けたとき

### 長雨るとき



天気予報で、大雨が今後も長く（3日~1週間程度）続くと予報されたとき

### 平成30年7月西日本豪雨 事前避難のおかげで土砂災害による被害者ゼロに

松山市高浜地区では、地区内35箇所です土石流やがけ崩れが発生し、人家約11戸が全半壊の被害となりましたが、異変に気付いた自主防災組織が一軒一軒に避難を呼びかけ、事前に避難した結果、土砂災害による被害者をゼロに抑えられました。



小型無人機で撮影した高浜地区の土砂災害現場



高浜4丁目道路への土砂流入状況



高浜5丁目の住宅被災状況

これまでの避難成功事例を踏まえ、愛媛県では**声掛け避難**を推奨しています。



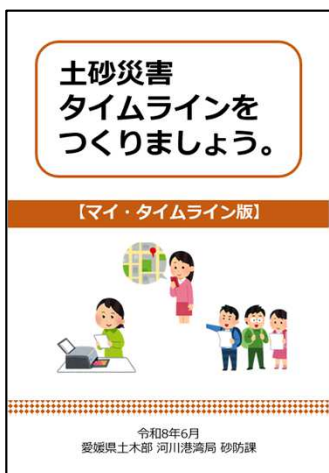
# 3. マイ・タイムラインと地域のタイムラインとの関係

## (1) マイ・タイムラインを作成しましょう

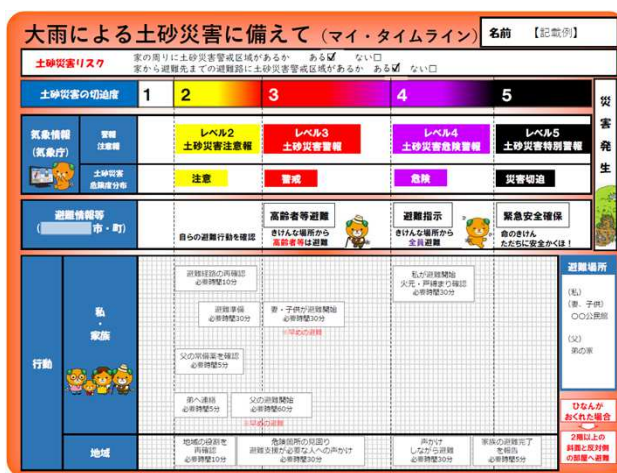
自分や家族のタイムラインや地域のタイムラインを作成する際の注意点として、まずは**自分や家族が避難することを優先**してください。

自分や家族の避難行動計画を決めておくことで、地域の役割が決まります。

**地域のタイムラインを作成するまえに、マイ・タイムラインを作成しましょう**



ガイドライン（別冊子）



マイ・タイムライン 作成例

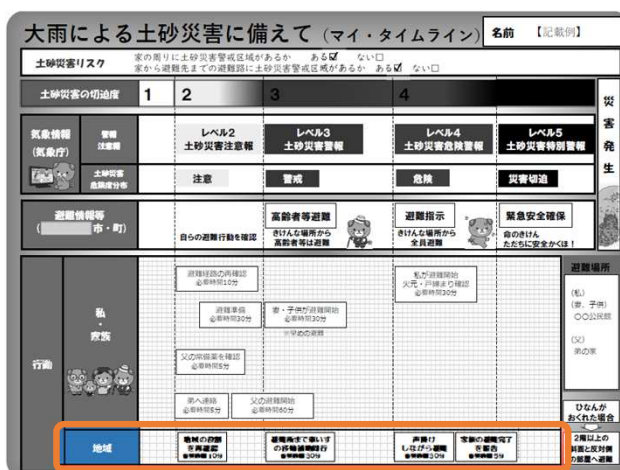
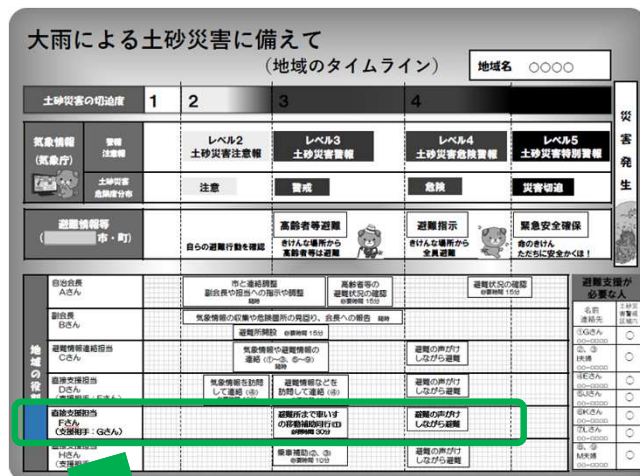


以下よりダウンロード可能です

(<https://www.pref.ehime.jp/h40700/dosyasaigaitimeline.html>)

## (2) マイ・タイムラインと地域のタイムラインとの関係

マイ・タイムラインの「地域の行動」をまとめたものが、地域のタイムラインとなります。



避難支援が必要な人には、早めに支援することとし、自らの避難の妨げにならないことが重要です。

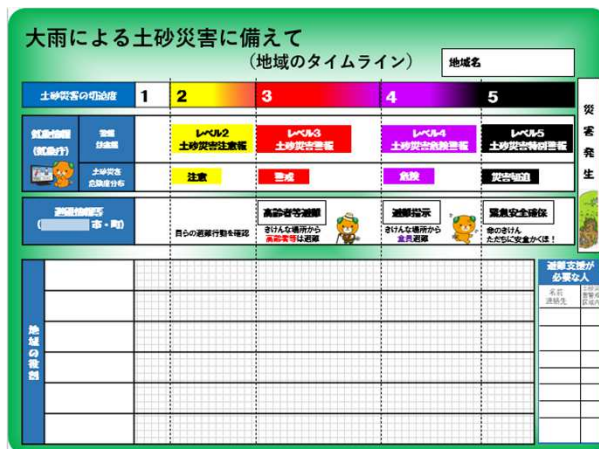
## 4. 作成手順

### (1) 準備するもの

土砂災害タイムライン作成のため、下記のことを準備してください。



ガイドライン（本冊子）



愛媛県土砂災害タイムラインシート  
以下よりダウンロード可能です

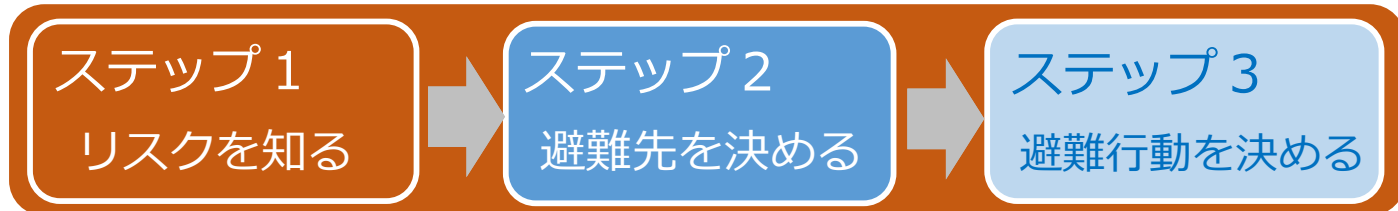
(<https://www.pref.ehime.jp/h40700/dosya/saigaitimeline.html>)



パソコン・スマートフォン  
ペンなどの筆記用具

### (2) 作業の流れとポイント

まずは、マイ・タイムラインを作成し、自分の避難行動を決めておきましょう。



マイ・タイムライン  
地域のタイムライン



4-1 避難支援が必要な人を把握	要支援者が土砂災害警戒区域内に住んでいるかどうかを把握した上で、どのような支援が必要か確認しましょう。
4-2 要支援者への支援担当を決める	支援内容や要支援者の住んでいる場所などから、誰を、誰が、どのような支援を、いつするか決めましょう。
4-3 地域の役割分担を決める	地域の役割は、要支援者への直接支援だけでなく、市町との連絡調整や避難所開設などがあります。それぞれの担当を決めましょう。

# ステップ4

## 地域の助け合いを決める

### 4-1. 要支援者を把握する

災害時、自力では避難が困難な高齢者や障害を持つ方々が、地域にお住まいかを確認しましょう。

要支援者の名簿作成や、どこに住まわれているのか地図に記録することが有効です。



急に地域内の要支援者全員を把握するのは難しいかもしれません。知っている人だけを対象にしたり、想定で考えてみたりでもよいので、まずは取り組んでみるのが何より大切です。



避難支援が必要な人			
	名前	連絡先	支援内容
①	佐藤 太郎	090-0000-0000	避難所まで同行 (電動車いすでの移動)
②	鈴木 一郎	56-0000	乗車時の補助 (早めに避難、車移動)
③	(妻) 花子		
④	高橋 タエ子	56-0000	耳が不自由なため 気象情報等を直接連絡 避難の声かけ
⑤	田中 一太	090-0000-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑥	伊藤 四郎	56-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑦	渡辺 しず子	090-0000-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑧	山本 徳太郎	56-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑨	(妻) きみ子		
⑩			



要支援者の名簿 事例

要支援者の住んでいる場所や避難先等を地図に記載 事例

### 4-2. 避難支援者を決める

要支援者の避難を支援するため、地区内で手助けできる人がいるかを確認しましょう。

誰を、誰が、どのような支援を、いつするか、事前に決めておくことで、緊急時にもスムーズに地域の助け合いができます。



誰を	誰が	どのような支援を	いつ
避難支援が必要な方の名前	支援担当	支援内容	支援時期
佐藤太郎	媛 一郎	避難所まで同行	避難準備・高齢者等避難開始発令
鈴木一郎	山口浩二	自家用車乗車時の補助	避難準備・高齢者等避難開始発令
高橋タエ子	山田太郎	気象情報等を訪問し直接伝達	大雨注意報、大雨警報発表
田中一太、伊藤四郎、渡辺しず子、山本夫妻	加藤一二三	気象情報等を電話で伝達	大雨注意報、大雨警報発表
市町との連絡調整 避難状況の確認	会長 斎藤一道		
情報収集・調整	副会長 清水次郎		

避難支援者と支援内容の考え方 事例

## 4-3. 地域として必要な役割を分担する

要支援者への直接支援のほか、以下のような役割が想定されます。あらかじめ、地域の役割分担を決めておきましょう。

### 自治会長

市町の災害対策本部等との連絡を行い、地区内の被害情報等の報告や本部からの情報提供を受け、情報収集担当へ連絡。

### 連絡誘導担当

連絡調整担当から連絡を受け、危険箇所の見回りや避難準備の声掛けを行う。

### 情報収集担当

自治会長から提供される情報のほか、気象情報などをHP等から収集し、自治会長や連絡調整担当へ連絡。

### 避難支援担当

連絡調整担当から連絡を受け、避難支援が必要な人の支援内容に応じて支援を実施。

### 連絡調整担当

情報収集担当から連絡を受け、自治会長と相談後、避難誘導担当や避難支援担当、避難所担当への連絡調整を行うとともに、調整結果を自治会長へ連絡。

### 避難所担当

避難所の開設、及び運営（補助）を実施。



### 【地域のタイムライン作成の注意点】

- ・まずは、自分や家族の身を守ることが最優先。
- ・その上で、地域の人々の助け合いについて考えましょう。
- ・助け合いにより、情報の聞き逃しや、逃げ遅れ等を防ぎましょう。
- ・地域での自分の役割をはっきりさせましょう。



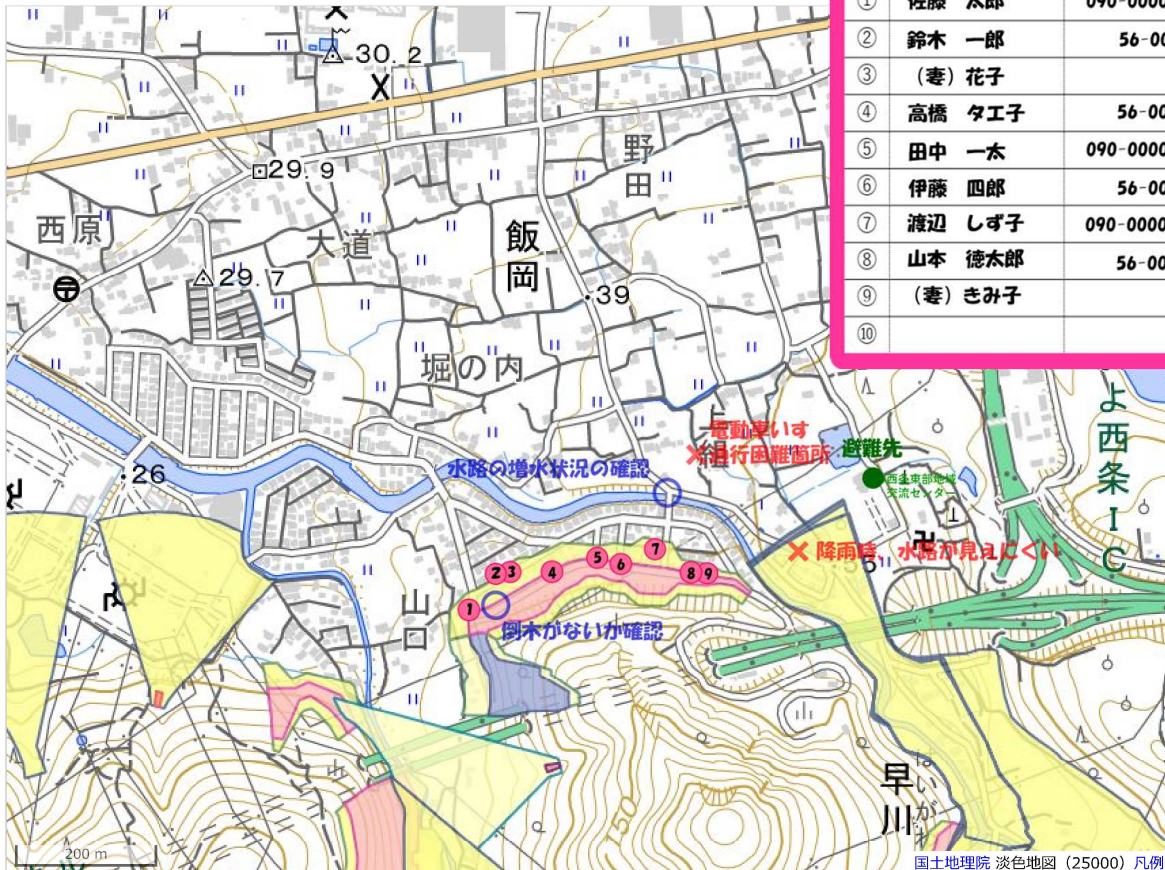
# (参考資料) 地域のタイムライン版 作成事例

## 大雨による土砂災害に備えて (地域のタイムライン)

地域名 ○○○○

土砂災害の切迫度		1	2	3	4	5	災害発生	
気象情報 (気象庁)	警報 注意報		レベル2 土砂災害注意報	レベル3 土砂災害警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル5 土砂災害特別警報		
	土砂災害 危険度分布		注意	警戒	危険	災害切迫		
避難情報等 (市・町)			自らの避難行動を確認	高齢者等避難 きけんな場所から 高齢者等は避難	避難指示 きけんな場所から 全員避難	緊急安全確保 命のきけん ただちに安全かくほ!		
地域の役割		自治会長 Aさん	市と連絡調整 副会長や担当への指示や調整 随時	高齢者等の 避難状況の確認 必要時間 15分	避難状況の確認 必要時間 15分	避難支援が 必要な人		
		副会長 Bさん	気象情報の収集や危険箇所の見回り、会長への報告 随時			名前 連絡先	土砂災害 警戒区域内	
		避難情報連絡担当 Cさん	避難所開設 必要時間 15分	気象情報や避難情報の 連絡 (①~③、⑤~⑨) 随時	避難の声かけ しながら避難	①Gさん 00-0000	○	
		直接支援担当 Dさん (支援相手: Eさん)	気象情報を訪問 して連絡 (④) 必要時間 10分	避難情報などを 訪問して連絡 (④) 必要時間 10分	避難の声かけ しながら避難	②、③ 夫婦 00-0000	○	
		直接支援担当 Fさん (支援相手: Gさん)		避難所まで車いすの 移動補助同行 (①) 必要時間 30分	避難の声かけ しながら避難	④Eさん 00-0000	○	
		直接支援担当 Hさん (支援相手: 夫婦)		乗車補助 (②、③) 必要時間 10分	避難の声かけ しながら避難	⑤Jさん 00-0000	○	
						⑥Kさん 00-0000	○	
						⑦Lさん 00-0000	○	
						⑧、⑨ M夫婦 00-0000	○	

## えひめ土砂災害情報マップ



### 避難支援が必要な人

	名前	連絡先	支援内容
①	佐藤 太郎	090-0000-0000	避難所まで同行 (電動車いすでの移動)
②	鈴木 一郎	56-0000	乗車時の補助 (早めに避難、車移動)
③	(妻) 花子		
④	高橋 タエ子	56-0000	耳が不自由なため 気象情報等を直接連絡
⑤	田中 一木	090-0000-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑥	伊藤 四郎	56-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑦	渡辺 しず子	090-0000-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑧	山本 徳太郎	56-0000	気象情報等の連絡 避難の声かけ
⑨	(妻) みみ子		
⑩			